

2025年5月8日

株式会社IHI

2025 年度決算説明会 主な質疑応答

1. 米国の関税影響について

- ・ 2025 年度の営業利益見通しに、関税影響および事業構造改革費用として、200 億円を織り込んでいる。
- ・ 関税影響のリスクがあるとみている事業は、民間エンジンおよび車両過給機。直接的な影響のみ、概算で織り込んでいる。
- ・ その他の間接的な影響については、現在情報収集・精査を行っているところである。

2. 民間エンジン事業の状況・業績について

- ・ スペアパーツ取扱高は過去 5 年で年平均 20%程度の伸びを見せている。2025 年度も引き続き拡大し、増益要因となる。
- ・ 一方で、整備費用が 2024 年度からズレて発生する見込みである。前年度比では減益要因となるが、整備費用が数年かけて発生する過程にあると捉えている。

3. 防衛関連事業について

- ・ 防衛事業の利益率は、2023 年度以降の新制度契約への切り替えに伴い改善が進んでいる。2026 年度には概ね切り替えが完了することから、営業利益率 10%を達成する見込み。
- ・ その他、グローバル事業展開に伴う利益率改善の可能性が将来的に見込まれる。

4. 事業ポートフォリオ改革について

- ・ 中核の各事業においては、まず成長性・収益性改善の議論を尽くし、必要な構造改革を徹底して行う。そのうえで事業譲渡も選択肢として考えていく
- ・ 「IHI グループ経営方針 2023」の最終年度となる今年度までに、方向性としては 8 ～ 9 割目途をつけ、2026 年度以降のさらなる成長に繋げていきたいと考えている。

5. その他

- ・ コスト構造強化に関しては、資源・エネルギー・環境の海外子会社の採算改善、社会基盤の橋梁・水門事業の採算改善、産業システム・汎用機械では車両過給機事業の販価改善による利益改善を見込んでいる。
- ・ 配当については、財務基盤強化、成長事業・育成事業への投資の必要性も考慮した上で安定的に行うこととしている。

以上